

新潟県小学校教育研究会

会 報

全
会
員
配
布

編集発行：新潟県小学校教育研究会事務局
〒950-0908 新潟市幸西3-3-1 (新潟会館2階)
電 話 新潟 (025) 290-2231
FAX 新潟 (025) 245-6060
http://www.niigata-inet.or.jp/k-shoken/
E-mail k-shoken@niigata-inet.or.jp
印刷：陸 第 一 印刷所
電 話 新潟 (025) 285-7161



「全県学力調査」の結果から

新潟県小学校教育研究会

会 長 丸 田 勲

1月に実施された、全県学力調査の結果がまとまり、6月に「平成16年度『全県学力調査』報告書」として県教育委員会より出されました。その報告書によれば、小学校の教科すべてが70%の目標正答率を達成し、しかも、2.2～10.4ポイントも上回っているといえます。これは、県小教研の会員である県内のすべての教員が、日々、真摯に教育活動に取り組んでいる成果であると考えます。

しかし、ほとんどの子供が目標正答率に達してはいますが、1～2割の子供が達していないことや、地域によってわずかではあるが差がでていることに注視しなければなりません。県内すべての子供が目標正答率に達することができるよう、子供の実態に即して指導方法の工夫・改善に努め、一層授業の充実に創意工夫していく必要があります。

また、この報告書には「児童生徒の学習に対する意識や生活実態と学力の関係」についての調査報告があります。「学校が好き、勉強が好き」な子供は「授業の理解度」との相関が表れており、子供の「授業理解度」を向上させるために「わかる授業」を工夫して実施するなど、学習指導を充実させることが重要です。また、「学校が好き、勉強が好き」という学校生活や学習への意欲を高める取組を一層強める努力が求められます。

さらに、睡眠時間、朝食、持ち物の確認と学力との相関関係が高くなっており、家庭での基本的生活習慣の確立が学力向上に欠くことのできない要因であることが再確認されました。子供、保護者に対して、家庭での基本的生活習慣の重要性について今まで以上に指導し、啓発していかなければなりません。

県小教研では、全県学力調査の結果を真摯に受け止め、新しい学習指導改善調査研究事業に自信をもって取り組み、教師の指導力の向上に資するとともに、「わかる授業」へと創意工夫を重ね、指導方法の改善・充実のために尽力してまいりたいと考えています。